

カンガルーシップ活動

就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 28 年 2 月 25 日
主管学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校
P T A 会長名	戸栗 倫子

実施概要	主管校	筑波大学附属大塚特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	
	実施日時	平成 28 年 2 月 2 日 平成 28 年 2 月 22 日
	実施場所	会議室
	実施目的	保護者が卒業後の子どもの将来の生活設計の具現化を学ぶ 保護者が学校・家庭・社会人としての生活や父親の関わりについて話し合い、学ぶ
	実施内容	講演開催
	実施方法	講演依頼
参加人数	綿祐二先生講演会： 29 名 岡部太郎氏講演会： 24 名	

報告事項	内容	<p>綿祐二先生講演会では、「卒業後のこどもの将来の生活設計の具現化」をテーマにお話をして頂いた。「障害者であっても人であれ!」「25 歳独立論」を訴える先生に、親亡き後、安心して地域で暮らしていくためにはどうしたらよいかを具体的にお話し頂いた。その中で、障害者が生活する上で支援が必要か、日中活動と居住をどうするのか、などの疑問に対し、経済的シミュレーション、支援シミュレーション、生き方シミュレーションについてご紹介頂いた。特に、生き方シミュレーションにおいては、多機能小規模カスタマイズ型入所施設に住む、という選択肢のご紹介があった。子供の将来のために親が準備しておくことを知り、具現化していくことで、親の不安は減る。また、親にも気概が必要で、我が子だけでなく、障害者のために行動する必要であることを教えられた講演であった。</p> <p>岡部太郎氏講演会では、保護者が学校・家庭・社会人としての生活や父親の関わりについて話し合い、学んだ。講演会では、事前アンケートで寄せられた「父親の参加・関わり」「子供の将来にむけ、何ができるか」「卒業後の就労や過ごし方」などのリクエストに沿って話して頂いた。</p>
	結果	<p>「就労支援プロジェクト」ということで、計画の段階では、企業見学や作業所の見学を計画していた。しかし、本校は幼稚部から高等部までの通い年齢に開きがあるため、極力、全学部が参加できるようなものにしたと考え、保護者全員が抱える卒業後の生活をテーマにした講演を開催することに変更した。</p> <p>綿祐二先生の講演は、福祉制度を熟知し、福祉の現場で活躍され、また家族に障害者をお持ちだからそのシビアなご意見など、刺激かつ学ぶことの多いものとなった。 講演会後のアンケートでは、継続的に講演を開催してほしい、勉強会を開催してほしい等、前向きな意見がでた。</p> <p>岡部太郎氏講演は、講演者のお人柄を感じる温かい講演で、子供の成長を、父親と母親では違う視点から見ていること、学校生活、生活の組み立て方のヒントを頂いたものであった。講演後、父の会を開催されることを期待するという声も上がった。</p>
	所感	<p>綿祐二先生の講演会の参加者からは、「将来の具体的な話が聞けて良かった」「勉強になった」「現実的な話が聞けて良かった」等、好評な感想が寄せられた。秋は行事が多いことから、開催が 2 月になってしまい、インフルエンザが流行する季節で欠席者が出てしまったのが残念だった。</p> <p>岡部太郎氏の講演は、講演開催が理事会終了後だったため、理事が多く出席したことを考慮下さり、大学附属の在り方、学校の立場なども含めて話して下さり、中身の濃い講演となった。</p>
	添付書類	収支決算書・参加感想

カンガルーシップ活動 就労支援プロジェクト 参加感想

提出日	平成 28 年 2 月 25 日
学校名	筑波大学附属大塚特別支援学校

【綿祐二先生講演】

- ・とても現実的なお話を伺えて、新たな視点が広がりました。
- ・高校卒業後の生き方が不安で、情報入手の方法もわからずにいたので、有益な時間となりました。
- ・知っているのと知らないのでは「生きていく」上で違ってくるのがたくさんでした。が、普通に生活しているとなかなか、知る機会がありません。また、お聞きしたいです。
- ・衝撃的な時間ともなりました。また、機会がありましたら、是非、勉強会に参加させて頂きたいです。
- ・また、機会がありましたら、お話を伺いたいです。
- ・子どもが自立していく為、なかなか聞くことができない裏の話等も伺え、厳しい現状の話もとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・改めて色々な事を考えさせて頂きました。今後のイメージを少しでも持つことができました。
- ・大変になるお話でよかったです。具体的な現実を知ることができて嬉しかったです。もし、見学できたらと思います。
- ・厳しい現実の話を楽しくお聞きすることができ、改めて考えさせられるものがありました。そして、親として一番知りたかった情報（ライフステージ毎の現実もお聞きすることができ、価値のある時間を過ごすことができました。
- ・障害者の親として、もっと勉強しなければと感じています。漠然としていた息子の将来について、もっと具体的に考え、行動にうつしていこうと思います。家族が、そしてすべての人が幸せに過ごせるよう、考えたいと思います。ありがとうございました。
- ・「いいわね、お宅の子はできて・・・」のお話は私の中ですごくスッキリさせてもらった気分です。みんな同じですと言って頂き、私もそう思っているのだと思いました。

【岡部太郎氏講演会】

- ・学校で使ったリズムを卒後も利用すると安心して過ごせるという言葉が印象にのこりました。
- ・学校での見通しを持った生活リズムを生活に取り入れる、先生から説明を丁寧に引き出すなどとても参考になりました。ありがとうございます。少し力をぬいて見守っていこうと思います。
- ・仕事、家庭環境など様々な背景のもと父親を子育てに参加させるというのは難しいものです。今日のお話の中、男親の立場における点に気付かされた部分もありました。お話をヒントに上手に父親観をひきだしていけたら、と思います。
- ・ご自分の経験をお話いただき、とてもありがたかったです。先生とのかかわり方、親としての態度など本当に勉強になりました。
- ・同じ家庭の中で生活していても、父と母では全く違う視点から物事が見えていることがわかり、主人への理解を進める糧となりました。また、幼～高の学校生活のお話から、生活の組み立て方や、学校との付き合い方のヒントを頂きました。
- ・特支にかかわらず、どこの就学におかれても、保護者と教師が子どもの両輪となって、成長を支えていくのが、大切だと改めて気づかされました。親の視点や本人の気持ちを見守り、ともにコントロールしながら生活していければと思いました。
- ・子供の体力、気持ちに寄り添って、親のほうも少しゆったりした気持ちを持つことが大切だと感じました。
- ・つい焦り気味になり、不安なる気持ちが少し楽になったような気がします。
- ・お父様ならではのお考えが伺え、貴重でした。
- ・PTA 主催で父の会（茶話会など）を開催されることを期待しております。
- ・とても心がほっとする話が聞けてよかったです。ありがとうございました。

活動に参加しての感想

